



発行所 山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215・FAX (237)3216

http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

今月の見どころ

2面 ●ものづくり・商業・サービス
革新補助金の公募開始

4面 ●組合の活動を紹介

6面 ●学生が経営者に聞きました

8面 ●6/2に通常総会・表彰式典を開催

定価100円

昭和36年4月10日 第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

3月の出来事

●時事

12日…サッカー日本代表新監督にハリルホジッチ氏
13日…寝台特急「トワイライトエクスプレス」
26年の歴史に幕

13日…東洋ゴム免震装置改ざん、全国55棟に
使用
14日…北陸新幹線、東京-金沢間が開業

●山梨県中央会ニュース

2日…中小企業組合まつり出展者会議
9日…女性部会県大会
22日…第20回中小企業組合まつり
26日…正副会長会議、第2回理事会

4月の予定

27日…正副会長会議、監査会

春爛漫の中 アイメッセで盛大に開催

第20回 中小企業組合まつり



主催者・来賓によるテープカット



主催者挨拶をする内藤会長

とした。大手企業や都市部における好景気が地方や中小・小規模企業まで循環しているとは言えず先行きが見通せない状況にあるが、飛躍の時を逃さないようにしたい。」と挨拶があった。続いて、松葉惇実行委員長の開会宣言にあわせて来賓の代表と主催者によるテープカットが行われ開場となった。

20回目の節目を迎えた組合まつりは、昨年からはじめた「農と食のマーケット」をグレードアップさせ、6次

産業化に取り組む事業者と一般社団法人やまなし美味しい甲斐の会員など20社が出展し、農業者と食品製造業者とのコラボレーションで開発された商品の展示、試食、販売等を行った。その他にも、6次産業化プランナーによる相談対応、事業者間のマッチングやコーディネートなども行われた。

昨年に引き続き、山梨県冷凍空調設備事業協同組合の主催による「美しい地球を未来の子供たちに」をテーマとしたステージイベントにご当地ヒーローとして人気が

高まりつつある甲州戦記サクライザーが参加しクイズ大会を実施、未来を担うたくさんの子供たちにもオゾン層保護と地球温暖化防止にむけての取り組みを紹介した。

また、地域おこしや名産品の紹介などの情報PRを担っているご当地マスコットキャラクターである「ゆるキャラ」に加え、都留信用組合のじゃがくん、自動車整備振興会のてんけんくんとせいびちゃん、あかぼうくんなどの組合のキャラクターも参加した。屋外ステージでの甲斐市のやはたいぬによる甲州弁ラジオ体操で幕を明け、ゆるキャラ8体と組合キャラクター4体など12体が大集合し、パフォーマンスや観光PRなどを行い会場を盛り上げた。

屋外の飲食ゾーンでは、県内外から15店が出展し、地域の魅力を再発信した「ご当地グルメフェア」を開催した。

屋内では、山梨県広告美術業協同組合による富士山のパネル展示が行われたが、開催中に盤面を張り替えるというパフォーマンスが行われた。山梨県水晶宝飾協同組合の「Koo-fuコレクション」の展示とジュエリーの無料リフレッシュ・クリーニングコーナー、郡内地域の織物をはじめ、機械金属や菓子などの地場産業の組合も出展し、匠の技が発揮された商品を展示・販売した。その他、中小企業診断士・弁理士・社会保険労務士などの専門家による相談コーナーも設けられ中小企業組合などを県民にPRした。

当日は、春のうららかな陽気の中、まつりに集った来場者は来場者プレゼントの交換、試食・試飲販売での新しい商品の発見をしながら、各種ステージイベントなども楽しんだ。



県広告美術業協同組合のポスター張り替えパフォーマンス



出展者を激励する後藤知事と松葉実行委員長



県冷凍空調設備事業協同組合のサクライザーエベント

中小企業者・中小企業組合等のための

“ものづくり・商業・サービス革新補助金”公募を受付中です!!

平成26年度補正予算による「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の1次公募を受け付けています。この事業は試作開発等を行う「ものづくり事業者」をはじめ、革新的なサービスの創出を目指す「商業・サービス事業者」、さらに、今回より新たに「中小企業組合等」を対象とした新たな事業類型も新設されました。この機会にぜひ、補助金の活用による新たな事業展開をご検討ください。

1.事業目的

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援します。

2.補助対象者

中小企業又は中小企業による共同体として、以下の要件のいずれかを満たすもの。

【革新的サービス】に取り組む場合

「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であり、3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

【ものづくり技術】に取り組む場合

「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。

【共同設備投資】に取り組む場合

本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組むことで、事業実施企業全体の3～5年計画で「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成できる計画であること。

※いずれの類型においても、どのように他社と差別化し競争力を強化するかを明記した事業計画書を作成し、その実効性について認定支援機関により確認されていることが必要です。

3.補助対象経費

機械装置費、原材料費、直接人件費、技術導入費、外注加工費、委託費、知的財産権等関連経費、運搬費、専門家経費、雑役務費、クラウド利用費

4.補助事業期間

交付決定日（平成27年7月以降を予定）～平成28年6月30日まで
※最大12ヶ月

5.補助金額

	一般型	コンパクト型
【革新的サービス】	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額：700万円 ・補助率：2/3 ・設備投資不可
【ものづくり技術】	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額：1,000万円 ・補助率：2/3 ・設備投資が必要 	
【共同設備投資】	<ul style="list-style-type: none"> ・補助上限額：共同体で5,000万円（500万円/社） ・補助率：2/3 ・設備投資が必要 	

※「設備投資」とは、専ら補助事業のために使用される機械・装置等であり、補助対象経費で単価50万円（税抜き）以上となります。

※【共同設備投資】では、「機械装置費」以外の経費は、事業管理者の「直接人件費」を除き補助対象経費として認めています。

6.公募締め切り

平成27年5月8日（金）

※電子申請でも受付可。詳しくは「ミラサポ」をご確認下さい。

7.その他

詳細は、本会「ものづくり専用ホームページ」に掲載の「公募要領」をご確認下さい。

ものづくり専用サイト：

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/mono>

8.お問い合わせ

ものづくり・商業・サービス革新補助金 山梨県地域事務局
山梨県中小企業団体中央会

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1 山梨県中小企業会館4階
TEL:050-6861-9988 FAX:055-237-3216
e-mail:mono@chuokai-yamanashi.or.jp

連ドラ『花子とアン』の経済効果と『道の駅』



NHKで昨年放送された連続テレビ小説「花子とアン」が、山梨県経済に与えた経済効果が県から発表された。昨年4月から9月までに県内を訪れた観光客1,800万人のうち、放映をきっかけに観光客が増加したことによ伴う経済効果の129億円に加え、テレビで放映された山梨県の映像を広告費換算額にした36億円を合わせると経済効果は165億円になるという。

平成25年の富士山の世界文化遺産登録以来、本県を訪れる観光客は飛躍的に増えており、確実に大きな経済効果をもたらしている。こうした契機をチャンスとして捉え、山梨らしい観光関連の新事業の展開による経済発展に繋げたい。

公共の移動手段の乏しい本県では、マイカーや観光バスによる観光客が多い。こうした中、休憩施設と地域振興施設が一体となった「道の駅」が県内にも19駅（全国では1,040駅）あ

り、地元の農業生産者による地元の新鮮な野菜や特産品を購入できることから、道の駅を訪問の目的地のひとつにする来県者も増え、「道の駅＝地元の産品を手に入れられる場所」というブランドも定着しつつある。

近年のテレビ番組の旅やグルメリポートなどで「道の駅」を取り扱うことも増え、情報発信のツールとしても大きな効果が認められている。

確立しつつある「道の駅」のブランドイメージであるが、地域の特産品を扱う「観光拠点」だけではなく、地域の農業者・商工業者・住民が連携して地域の文化、名所、特産物、地場産業などを一体的に活用して多様なサービスを提供できる「産業振興拠点」にすることが本県経済の活性化の手段の一つとして望まれる。

▶データから見た

業界の動き

●情報連絡員からの景況報告の概要

昨年同月期は雪害による操業停止や交通障害による配送業務の停滞等により県内の経済は一時的に麻痺状態に陥ったためDI値が悪化したが、今年は消費税増税や円安による原材料等の価格上昇の影響により一年経っても景況感の回復傾向は見られない。

一方、日経平均株価が15年ぶりの高値をつけるなど国内の景気は好転への期待が高まるとともに、円安の「メリット」として輸出増や海外の生産拠点の国内回帰による受注増、訪日観光客の増加は関連業種へ波及効果となっており、併せて石油製品の値下げは企業のコスト負担を軽減させる要因となるなど、明るい兆しが見える業種もある。

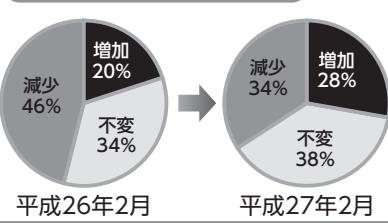
しかしながら、国内展開を中心の中小・小規模企業にとっては、原材料価格の高騰や技能者の人手不足、物価上昇に伴う消費者マインドの低下等、利益を押し下げる要素が山積している。

今後、円安進行が県内中小企業者の企業業績を上げるうえで、大きな足かせとなることが懸念される。



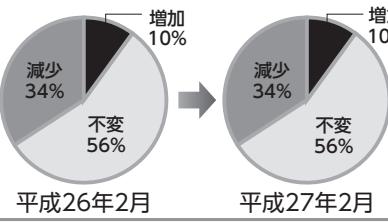
データから見た業界の動き(平成27年2月分)

▶売上高(前年同月比)



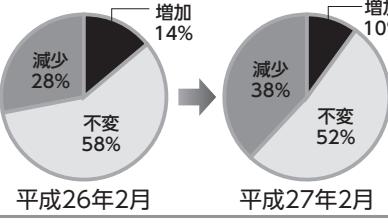
- DI値▲6(前年同月比+20)
- 業種別DI値
製造業 ▲5(前年同月比▲5)
非製造業 ▲7(前年同月比+33)
- 前月比DI値
製造業 10ポイント改善
非製造業 20ポイント改善

▶収益状況(前年同月比)



- DI値▲24(前年同月比±0)
- 業種別DI値
製造業 ▲30(前年同月比▲25)
非製造業 ▲20(前年同月比+17)
- 前月比DI値
製造業 15ポイント悪化
非製造業 10ポイント悪化

▶景況感(前年同月比)



- DI値▲28(前年同月比▲14)
- 業種別DI値
製造業 ▲20(前年同月比▲20)
非製造業 ▲33(前年同月比▲10)
- 前月比DI値
製造業 5ポイント悪化
非製造業 3ポイント悪化

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)／催事やギフト関係、ホテルやレストラン向けの生食材も好調となり全体の売上は前年同月比115%。原材料高が続いている採算面は厳しい。
- 食料品(洋菓子製造)／自社商品の輸出量が倍増、デパート向け商品も好調だったが、OEMが不振のため売上は前年同月比103%。原材料の高騰が続き採算的に厳しい状況にある。
- 食料品(製麺)／昨年は雪害により売上が減少したが、今年は昨年に比べ増加した。
- 食料品(菓子)／昨年よりボイラーで使用する灯油代が安くなり経費が減少した。
- 窯業・土石(山碎石)／平成27年1月に入り、骨材関係の需要が更に悪化し前年対比84.2%。
- 鉄鋼・金属／昨年は円安や消費税増税に伴

う在庫確保のため少し上向きであったが、今年は材料費高騰により在庫が少なくなっている。先行きは不透明。

- 一般機器／材料代が高騰。
- 電気機器(1)／年度末集中型の受注が多く安価なコストや短納期であるため、人件費や原材料等の費用が一時期に集中し過大になる。
- 電気機器(2)／円安とアベノミスク効果が中小企業にもあらわれてきたと思われる程度に仕事量が増えてきた。円安の為、海外生産の一部が国内に戻って来ているのも仕事量が増加している要因。
- 宝飾(1)／輸出額が若干増加したが、中国の購買力が減少しており全体的な売上高は減少。
- 宝飾(2)／限定的だが発注量、売上ともに増加。

■非製造業

- 卸売(紙製品)／県外同業者の参入により仕入価格が上昇傾向。
- 卸売(ジュエリー)／国内流通は、厳しい状況にある。
- 小売(青果)／低温による野菜類の入荷減のため価格が上昇。消費動向は低調に推移したが全体として売上は上昇。業況は好転の兆し。
- 小売(食肉)／アメリカ西海岸の港湾ストの影響や円安が追い打ちをかけ国内在庫が逼迫。
- 小売(水産物)／昨年は雪害により物流が停止したため在庫が底をつくほどの特需となたが、今年は昨年の状況を差し引いても悪化している。
- 小売(電機製品)／太陽光発電関連をはじめ主要な白物家電等、全般的に売上が落ち込んだ。
- 小売(石油)／中東産油国の原油高騰による元売り各社の卸価格の上昇により県内石油製品の販売価格は1月末から10円程度値上げ。
- 商店街(1)／季節柄、来街者は減少、買い物控えの傾向が続いている。
- 商店街(2)／新ポイントシステムや駐車場売

上げ好調。

- 宿泊業／海外からの観光客も僅かだが増加傾向。
- 美容業／消費者の節約傾向が強まり来店者数、客単価が減少。
- 建設業(総合)／2月の県内公共工事動向は件数で1.3%減したが、請負金額は63.5%の大幅増となった。大型案件は県外大手が受注しており県内業者への恩恵は少なく、県内業者の受注は減少傾向にある。
- 建設業(型枠)／年度末にかけて県内、首都圏ともに仕事量は減少。
- 建設業(鉄構)／技能者的人手不足が深刻。
- 設備工事(電気工事)／人手不足が深刻化。
- 設備工事(管設備)／民間需要の低迷が続いている。円安による原材料高騰等により収益を悪化。
- 運輸(タクシー)／早朝需要はあるが、深夜需要が減少。
- 運輸(バス)／新運賃制度により売上は増加したが、JRやレンタカー使用へと顧客がシフトしたため利用率は低下。
- 運輸(トラック)／ドライバー不足が顕著化している。

オピニオン opinion

指定管理者受託を機に組合事業の再興を模索

当組合は昭和61年に設立され、官公庁から発注される造園工事や緑地の維持管理の共同受注を中心に、最盛期には年間2億円以上の受注実績がありました。

その後、徐々に官公庁からの造園工事の分離発注の減少や随意契約から競争入札への転換など受注環境が変化し、組合の受注量が減少してきました。そこで組合では、10年ほど前に公共施設の管理・運営を民間委託する「指定管理者制度」が導入されたのを機に、「山梨県緑化センター」の運営を指定管理者として受託しました。8年間指定管理を請け負った山梨県緑化センターは平成26年3月末に廃止されましたが、組合では新たに山梨県より「武田の杜保健休養林」の指定管理と「緑の普及啓発事業」の業務委託を受けています。

指定管理者制度の導入による公園緑地施設の民間管理の拡大は、

●山梨県造園建設業協同組合 理事長 帯金 岩夫 氏

組合員の受注機会の減少や受注単価の低下につながることから、組合として、組合員の緑地管理業務の受注確保と組合の運営強化を目的に、組合事業の多角化として指定管理者の受託に積極的に取り組んで行く必要があると考えています。

県内に300社程の造園業者がいます。現在の造園業者の仕事には、建設業許可を必要とする造園工事だけでなく、緑という生き物を時間と手をかけて育成する仕事に加えて、古くからある「日本の庭」文化を守る技術の伝承の役割もあり、昨年11月に小林稔造前理事長が現代の名工に選ばれたことは、後身に影響を与える大変よろこびしいことです。

今後も造園業者の事業の維持拡大と組合活動の活性化のために、事業者の組合加入の促進とともに指定管理者の受託と造園公共工事の分離発注の推進を含めた組合員が受注できる環境づくりを働きかけていきたいと考えています。



TOPICS

平成26年度消費者セミナー開催

一般社団法人山梨県トラック協会(坂本政彦会長)は、3月7日(土)に昭和町「アピオ甲府」において、業界のPRをかねた消費者セミナーを開催し、会員企業の役職員等約230人が参加した。

セミナーにあたり、坂本会長は、「今、運輸業界は大変厳しい状況におかれている。その中で、トラック輸送の大切さを知ってもらい、みんなが共通の認識

をもち、物流をめぐる今後のあり方について考えて行かなければならぬ時代が来ている。」と語った。

セミナーは、「これからどうなる暮らしと経済」をテーマに、講



白石真澄教授

師には、関西大学政策創造学部教授・政策学科長の白石真澄氏を招き開催された。

白石教授は、「今、運輸業界は人手不足で若い人の採用が難しく、女性の雇用が多くなっている。これらの社会は、個々の企業とそれぞれの地域ががんばっていかなければ成り立たない。会議室の中では新しい物はつくれない。」「創業しなければ雇用は生まれないので、新しいビジネスを後押ししなければ成長はない。」「労働集約型(介護・保育・運輸)産業に人が集まらないので、定年制を廃止して、働く内は働いてもらう。しかし、若い人との給与の差はつける。」「今後の日本は、社会保障が上がり、若い人達の負担が増えるので、高齢者が働く環境を整える事が大切である。」などの話がされ、参加者はみな熱心に聞き入っていた。

一般社団法人山梨県トラック協会



参加者からは、「景気は上向いていると言われているが、燃料の価格の高騰に加えて、人手不足という2つの難題に直面している。物流は生活の中で欠かせないものであるからこそ、これからも、くらしと経済のライフラインとして頑張っていかなければならない。」と、今後業界として事業者が協力して対応しなければならない経営課題が意見として出され、益々重要になってくる協会の役割を認識した。

TOPICS

山梨県冷凍空調設備事業協同組合・一般社団法人山梨県冷凍空調設備保安協会

「サクライザーと一緒に地球温暖化防止を考えよう!」

地球温暖化防止に向けた講演・クイズ大会を開催



山下喜幸理事長

山梨県冷凍空調設備事業協同組合(山下喜幸理事長)と一般社団法人山梨県冷凍空調設備保安協会(石川勝秀理事長)は、3月22日にアイメッセ山梨で行われた中小企業組合まつりで、「美しい地球を未来の子どもたちにinやまなし～オゾン層保護・地球温暖化防止に向けて～」と題した基調講演、パネルディスカッション、クイズ大会を実施した。

この事業は、一般県民に対して業界で取り組んで

いるオゾン層保護・地球温暖化防止に向けた活動への理解と協力を得ることを目的として実施しており、今回で5回目となる。

今回は、「改正フロン法の概要」、「オゾン層保護・地球温暖化防止」などの組合・協会の活動について、未来を担う子ども達にも解りやすく知ってもらうため、講演会に加えてテレビ等でも人気の「甲州戦記サクライザー」と地球温暖化防止について考えるクイズ大会を行い、多数の親子が参加した。

パネルディスカッションやクイズにも参加したNPO法人気候ネットワーク桃井貴子氏によると、昨年2月14日～15日の観測史上1位を記録した本県の大雪もフロン等を含む温室効果ガスの影響による「温暖化」がひとつの要因とされている。



大人気 サクライザーを交えたクイズ大会

組合・協会では、「フロン法改正により本年4月より冷凍・空調ユーザーに対しても管理・フロン類の排出抑制義務が決まった。しかし、地球温暖化防止のための取組みは、フロンを取り扱う事業者だけではなく、消費者や行政等のフロン漏洩に関する監視の目が必要。もっと一般の人々に協力してもらえるよう啓蒙普及活動を続けていきたい。」と語っている。

TOPICS

原木販売の低迷打開へ、木工品オリジナルブランド立ち上げる!

甲斐東部材産地形成事業協同組合(渡邊泰理事長)は、オリジナルブランド「シンプルウッドまるき」を立ち上げ、県産の木材を使った収納箱や店舗用什器等の製造・販売に乗り出した。

当該組合は、山梨県東部の木材供給拠点として平成9年から活動を始めた甲斐東部材製材協同組合(製材工場)、甲斐東部材プレカット協同組合(プレカット工場)と連携して、原木販売拡大のための市場整備・運営を行ってきたが、県産木材の製材と販売の取引量の減少を受け、加工



収納箱

設備や技術を生かして消費者に直販できる最終製品を開発することを目指すこととなった。

今回組合が新たな市場開拓のために着手したオリジナルブランドには、三つのポイントがある。一つ目は全国有数の森林県である山梨の良質な県産材「山梨の木」をたくさん使うことで地域振興と環境保全を図ること。二つ目は近くの山から伐採した木を製材・乾燥して「そのまま」使用することでシンプルな部材の組み合わせを楽しむこと。三つ目は節を含む木肌の自然な美しさ、無垢材のやわらかい手触り、無塗装の木の香りを味わえる「すっぴん」となっている。

収納箱はA4サイズを基本に、書類トレーから書棚、おもちゃ箱から野菜入れまで活用が様々なものとなっている。オプションで高さオーダー、キャスター、ふた

付きを選ぶことができる。また、各種店舗用什器は、板厚15mm以上のスギ無垢材を使用し、木箱、



陳列棚、平台、テーブル、ベンチ等、店舗の広さに合わせた寸法で製作、部材の希望など様々な相談にも応じることとしている。

組合の渡邊泰理事長は、「今後、インターネット等一般消費者に直接販売できる商品を作ることで、新たな市場の開拓を目指すと同時に、商品を拡充することで県産材の利用増につなげたい。」としている。

一般社団法人やまなし美味しい甲斐

JR八王子駅構内 「やまたまや」でフェア開催

一般社団法人やまなし美味しい甲斐(事務局:中央会)では、JR八王子駅構内の「やまたまや」で2月25日から「やまなし美味しい甲斐」フェアを開催した。

当法人は、山梨県農政アドバイザーの小泉武夫先生の指導をうけて県内の農産物加工品の開発を行っている事業者の販路拡大を目指して設立されたもので、今回のフェアは、東京圏での2箇所目の店舗販売として東京と首都圏をつなぐ中核駅であるJR八王子駅での実施となった。

「やまたまや」は、(株)JR東日本リテールネットが地域の特産品の紹介・販売を目的に開発したショップで、スイーツ、加工品、伝統工芸品など山梨・多摩地域にフォーカスした商品を取り揃えており、お客様に山梨・多摩地域の魅力をより知りいただけるよう情報発信を店舗として行っている。

当法人の会員には、既に「やまたまや」と直接取引している会社もあるが、当法人が代表となって販売契約したこと、(株)IJAPAN、(株)くだもの厨房フクヨシ、(株)プラム、茶工房まるわ、(株)海老屋などの開発品が常時展示販売できることになった。

加えて、3月2日(月)~7日(土)までのフェアの開催期間中は、甲州地どり生産組合、(株)桑郷、BUDAWA甲州、(株)いつみ家、JA鳴沢村加工部会 樹型の里、佐藤農園、(株)専匠の商品が店頭の特設コーナーに陳列された。各社は順番で店頭に立ち、直接消費者に商品のPRを行うとともに、当法人のパンフレットを配布し、プロモーション活動を行った。

美味しい甲斐では、山梨県の出身者が多い多摩地域をターゲットとして、今後も販路拡大の取り組みを展開し、店頭イベントの実施やリピーターの増加を図ることにより常設売場への取扱商品の拡大を図っていく。



2016年度版新卒者向け 就職応援企業ガイドブックを発行

▶▶▶県内の採用予定企業265社の情報を掲載

中央会では、「新卒者就職応援企業ガイドブック2016年版」を発行し、県内外の大学や県内の専門学校等と各関係支援機関への配布を開始した。

この企業ガイドブックは、大手企業と比べ新規学卒者等の確保が難しい県内中小企業の採用活動を支援することを目的として、山梨県(労政雇用課)からの委託を受けて実施してきた中小企業情報発信支援事業の一環として作成したもの。新卒者の積極的な採用を計画する山梨県内の中小企業や山梨県内に支店や営業所を置く中堅企業の情報を掲載し、県内外の学生に向けて山梨の企業情報を発信し、県内企業への就職を推進するために発行した。

今回の企業ガイドブックには265社の企業情報を掲載、4000部を作成し、県内外の大学等374校のキャリアセンターなどを通じて、平成28年3月卒業予定の学生向けに情報提供を行っている。

特に、平成28年3月卒業予定の大学生ら学生の就職活動については、経団連の日程ルールの変更により開始時期が例年より3カ月遅れ、面接など企業の選考活動の解禁も8月1日となるなど4カ月も繰り下げられたことにより、学生も企業も手探り状態の中にあり、関係者の間には緊迫感が漂っている。

全国的に企業の採用意欲が高まる中で新卒者の争奪戦も予想され、県内の中小企業が短期間で優秀な人材の計画的採用ができるか懸念される状況にある。

ガイドブックでは掲載企業の概要のほか、企業理念と社内風景や人材育成の取り組みといった企業風土など、各企業の特色や強みを紹介している。中央会では、県内中小企業の持つ魅力を知ってもらい、優秀な人材確保と地元への定着に結びつけるためのツールとして、このガイドブックを有効に活用してもらうことを目指している。



●山梨県中小企業団体中央会女性部会

平成26年度女性部会県大会を開催

山梨県中小企業団体中央会女性部会(星ちえ子会長)は、3月9日「ブライダルビレッジ・ティンカーベル」において、平成26年度女性部会県大会を開催し、県内の女性経営者、経営者パートナー、組合の女性役職員など約60名が参加した。

女性部会県大会は、女性経営者や経営者パートナーとしての女性の経験発表を通して、企業経営に

おける女性の役割の大切さを再認識とともに、同じ立場で頑張っている女性同士の交流を通じて企業経営にかかる女性の新たなネットワークづくりを目指すことを目的として毎年開催している。

第1部の特別講演では、(株)ルミエールの代表取締役である木田茂樹氏から、「山梨のワイン産業の現況と観光」をテーマとして、甲州ワインを世界へ売り出すために立ち上げられたKOJ(甲州オブジャパン)の活動内容や地場産業として世界的な認知度が高まりつつある甲州ワインの今後の展開について講演が行われた。

続いて、第2部の県内事例発表では6次産業化事業の登録プランナーであるサムスティング エフの代表である三浦りか氏より「笑顔は最高のコミュニケーション~幸せな組織作りのために~」と題し、「企業においての女性の役割や、女性には女性ならではの



(株)ルミエール
代表取締役社長
木田 茂樹 氏



サムスティング エフ
代表
三浦りか 氏



女性部会県大会の様子

視点から特有の感性があり大きな強みとなっているため今後の活動に活かして行って欲しい」と発表が行われた。

女性部会では、今後も県大会などを通じて女性部会の会員拡大を図ると共に、女性が持つ魅力をいかんなく發揮し、強くたくましい中にも女性らしさを忘れずに、この厳しい経済状況を乗り越えて行きたいと考え活動を続けていく。

経営者に聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接聞き取ることにより、学生と企業の相互理解を促進し、雇用のミスマッチ等を解消すること目的としております。

学生企業レポート 第44回

▶第44回目となる今回は、山梨情報専門学校 情報システム科 1年 坂本智則さんが、株式会社 エムアイエー 代表取締役 今福勇氏を取材しました。



経営者

株式会社 エムアイエー
代表取締役

今福 勇氏



学生

山梨情報専門学校
情報システム科

1年 坂本 智則さん

“強みは スペシャリスト”

▶学生 会社概要と事業内容を教えてください。

▶経営者

弊社は1986年9月に設立、12月に法人化しました。受託ソフトウェアの開発、企業の会計処理、販売の債権管理などの事務系ソフトの開発を主に行ってきました。その後1998年にデータセンター業務を始めました。そのきっかけは、当時アクセスやエクセルなどのソフトにより顧客自身で計算業務ができる環境が整いつつあったため、事務系のソフトが縮小しデータ処理の仕事が減るとの推測からデータを保管・運用する業務に乗り出しました。

現在では、行政の住民データや民間企業のインターネットデータ、市立の小中学校の成績管理サーバのホスティング及びネットワーク端末の保守などをする業務が約6割を占めています。また、システム開発は東京事業所が主体で、甲府はデータセンター管理業務が主体となっています。

▶学生 御社の求める人材についてお聞かせください。

▶経営者

日本も昭和から平成に変わり労働環境も変わってきました。昔は、年功序列で上司に言われるまま働いて給料をもらっていましたが、今では、労働基準法等で労働者が一番守られる時代になりました。その中で弊社が求める人材は、自分で稼いだ分から自分の給料を貰う人です。他人の稼いだ分から給料を貰おうという甘い考え方の能力のない人は要らないと考えています。「働く者食うべからず」という考えが根本にあります。

▶学生 御社の強みを教えてください。

▶経営者

私が新しいもの好きで、インターネットを接続したのも1999年前後で約16年前、当時の山梨県では最先端でした。ビジュアルベースによるパソコンのソフト開発も、Windowsが出る前、MS-DOSの時代からやっていました。

新しいものに取り組むためには相当の努力が必要です。弊社が30年間生き延びることができた理由は、私を含めて生産管理のスペシャリストが多く、新しいことにチャレンジしてきたからだと思います。

▶学生 IT業界の現状と動向についてお聞かせください。

▶経営者

私個人としては、山梨県の情報化業界は約50年近くあまり変わっていないと思っています。

弊社は創立30年になりますが、創立時に山梨県にあったIT企業も、現在では片手くらしか残っていません。しかし、会社の数はそれほど変わっていませんから、IT企業は作るのも簡単な

取材を終えて…

今福社長は取材の中で、『働く者の食うべからず』とおしゃっていました。自分が働いた分を自分の給料として貰う、それこそが今後の私たちの社会なのだと改めて感じました。これから社会に出て行く者として甘い考えは捨て、今、自分に何ができるのかをしっかりと考え行動したいと感じました。自身は残り1年勝負の年を迎えます。今後の人生のためにも残りの学生生活を有意義なものにしていきたいと思っています。

反面、潰れるのも簡単です。その中で生き残っていくためには、元請けの会社の系列に入ることが一番安心でしょうが、景気が悪くなると親会社が潰れたり下請けとして切られるなど、自社の経営が他社に左右されてしまいます。

首都圏や6大都市などではだいぶ景気がよくなり始め仕事量が増えているようですが、これが継続的なものなのか一時的なもののかは、まだわかりません。

▶学生 御社の将来展望について教えてください。

▶経営者

今後はシステム開発に注力したいと考えています。本社も県外や国外に移すかもしれません。人口約80万人の山梨県で意地を張って商売しなくとも良いと思っています。

ただし、データセンター業務は、ハザードマップでも危険率の低い甲府市に置いておくことはあると考えています。

また開発に力を入れるなら、山梨県にこだわらず県外、あるいは国外も視野に入れて展開していくないと駄目だとも思っています。



学生企業レポート 第45回

▶第45回目となる今回は、帝京科学大学 生命環境学部 生命科学科 3年 有賀佐也香さんが、株式会社 平和堂 代表取締役社長 堀口悟氏を取材しました。



経営者

株式会社 平和堂
代表取締役社長

堀口 悟氏



学生

帝京科学大学
生命環境学部 生命科学科

3年 有賀 佐也香さん

地域に根差した 手づくりのこだわり

▶学生 会社概要、事業内容について教えてください。

▶経営者

弊社は昭和29年に創業し、今年61年目を迎えます。かつて甲府市中心街に近い旧国道20号線に魚市場があり、父が市場に出入りする仕入れ業者の方々に毎朝作りたての餅菓子を商っていました。その後、日本経済の成長に伴い県内各地に次々にオープンした地元スーパー・マーケットに取引を広げ、菓子製造・卸売業として2代目、3代目へと引き継がれてきました。その間、時代の変化に合わせて、機械で大量生産する商品と職人の手づくりによって付加価値をつける商品に分け、近年ではOEMやPB(プライベートブランド)商品にも力を入れ、山梨県の伝統・風習に根差した地域密着の菓子作りの経営を心掛けています。

▶学生 御社が求める人材についてお聞かせください。

▶経営者

明るく挨拶ができ、眞面目に仕事に取り組む姿勢が見える方、コミュニケーション能力の備わっている方、想像力が豊かな方を求めています。

挨拶は、日常生活の基本です。職場は1日の大半を過ごす場所ですので、皆が気持ち良く仕事に従事できる雰囲気作りが必要です。また、与えられた仕事をこなすだけではなく、他の従業員や取引先とのコミュニケーションによって、相手のニーズに応えるヒントを得ることもあり、社内では様々な意見を交わすことが会社の活性化にも繋がります。その意味で、人ととの関わりが重要だと考えています。加えて、新しい商品開発には若い方の豊かな想像力やアイデアが必要です。若い方は新しい情報をキャッチするのが早いので、私たちが気づかない視点でのアイデアをいただけたらと

思っています。

仕事面だけでなく、人間関係を円滑にするためにも相手のことを思いやる想像力というのは重要なと感じています。

▶学生 御社の強みをお聞かせください。

▶経営者

年間数多くある行事に得意先に対し小回りが利いた商品供給ができるところが最大の強みだと思います。また、少量でも短時間で商品の供給を行うことができ、得意先の要望にすぐに対応できる体制が持ち味だと考えています。

▶学生 菓子業界の現状・動向についてお聞かせください。

▶経営者

昨今、円安による原材料の価格高騰が製品づくりに大きな影響をおよぼしています。一方、小売価格になかなか転嫁できないため、創意工夫をしてコスト削減に努めています。また、物流システムの発展により、他県からも作りたての菓子が配送できるようになりました。更に大手企業の大量生産による安価な提供も増え、価格面においても競争が激化しています。食品製造は、衛生面、異物混入、アレルギーなど消費者の要求が益々高いレベルへと上がって

取材を終えて…

堀口社長より菓子業界の現状や課題を聞き、原材料の価格高騰、衛生面の問題の対処など菓子業界も様々な事情を抱えていることがわかりました。

今後、就活で業界を調べていく上で参考になる大変貴重なお話を聞け、とても良い経験になりました。

いくことが予想され、当然のことながら全く気が抜けない状況にあります。

▶学生 将来展望についてお聞かせください。

▶経営者

弊社の製品は嗜好品ですから、日常生活になくてもそれほど困ることはあります。しかし、あれば皆さんの生活に『ほっとしたひととき』をもたらしたり、生活に潤いを与えてくれる食べ物だと思います。

今後も今の経営方針は変わることなく、既存のお客様との取引を大切にし、地域に根差したお茶の間に弊社の商品を自然と置いていただけるような身近な存在でありたいと思っています。

それと同時に、近年はスーパー・マーケットでも独自の商品開発に力を入れていますので、お客様のニーズに合わせた商品、オンラインリーフォン商品をご提案させていただくことも必須だと考えています。

山梨県は『山紫水明』、良質の作物が豊富に取れますので、県産の原料を使用した菓子作りにも挑戦し、地産地消の製品づくりで山梨県に貢献できたらと考えています。



情報BOX

4月からフロン漏洩防止のための機器点検がユーザーに義務化されます

大型のエアコン、冷凍・冷蔵機器を使っている事業所は要チェック！

オゾン層を破壊するフロン(CFC等)の削減は着実に進んでいますが、高い温室効果を持つ代替フロン(HFC等)の排出量が2001年以降急増し、10年間で6倍以上となっています。

平成25年6月にフロンの回収と破壊に関する法律が改正され、フロン製造業者、機器メーカー、機器ユーザー、回収・破壊・再生業者などフロン類の製造から廃棄までのライフサイクル全体を包括して対策を行う「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」(以下「改正フロン法」)が平成27年4月より施行されます。

改正フロン法では、業務用エアコン、業務用冷蔵・冷凍機器(冷水機、製氷機、ビールサーバー、冷凍・冷蔵ショーケース等)をはじめ冷蔵・冷凍設備を持つ輸送用車両などフロン類を冷媒として使用している機器全てに規模に応じた点検が義務化されます。(右記表参照)

例えば一般的な事務所のエアコンでも、7.5kw以上の出力を持っている場合(例:室外機1台で4台の室内機を動かしている機種)には、定期点検が義務化されます。

機器の定期点検は、「冷媒フロン類取扱技術者」としての専門知識を持った者が行わなければならず、自社内に資格者を配置するか専門業者への委託することが求められます。

また、フロン漏洩の発見の際に速やかな漏箇所の特定と修理をしない場合にはフロンの再充填は禁止されることになり、業務に支障の出る恐れが

でできます。

これ以外にも、点検・修理・フロンの再充填・回収等の履歴の記録や保存義務、国や県への報告義務など、ユーザーに求められる排出抑制へ取り組みも必要となるため、事業者の負担も増えることになります。

まずは、自社に導入されている機器の導入を施工した事業者又はメーカーにどのような対応が必要な機種なのか問い合わせしてください。



冷蔵ショーケースなども対象

機種	圧縮機電送機定格出力	点検頻度
全てのフロン使用機器	出力にかかわらず	3ヶ月に一回以上の簡易点検
エアコン	7.5kw以上50kw未満	3年に一回以上の定期点検
	50kw以上	1年に一回以上の定期点検
冷凍・冷蔵機器	7.5kw以上	1年に一回以上の定期点検

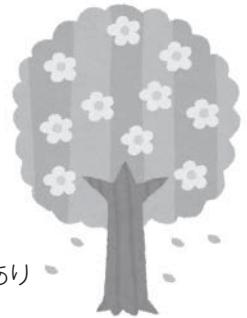
フロン機器に関するお問い合わせ、改正フロン法に関する詳細は、

●山梨県冷凍空調設備事業協同組合

一般社団法人山梨県冷凍空調設備保安協会まで

連絡先:055-266-5644

ホームページ:<http://www.findout.or.jp>



武田の杜『さくらまつり』開催

●山梨県造園建設業協同組合

苗木販売、音楽演奏、木の工作、きのこ植菌、軽食販売、豚汁無料配布などもりだくさん

開催日時:平成27年4月11日(土)

午前10時~午後4時

会場:武田の杜「健康の森」自由広場

(甲府市山宮町片山3371)

問合せ先 武田の杜サービスセンター 甲府市山宮町片山3371

桜のライトアップも同時開催

★甲府盆地の夜景とともに楽しんでください★

期間:4月7日(火)~12日(日)※開花状況により変更あり

時間:午後6時~午後9時

TEL・FAX:055-251-8551 Eメール:takedanomori@y-zouen.jp



環境保全の期待を胸に
走れトラック
希望をのせて

平成26年度環境標語最優秀作品

平成27年度

協会けんぽの保険料率が改定されます。

平成27年度の協会けんぽの健康保険料率及び介護保険料率は、例年よりも1ヶ月遅れの4月分(5月納付分)からの改定となります。

山梨支部の保険料率は健康保険が9.96%、介護保険が1.58%になります。

加入者の皆さまの医療と健康を支えるため、このようなご負担につきまして、ご理解くださいますようお願い申し上げます。また、保険料率の改定時期が例年とは異なることとなります。加入者・事業主の皆さまにおかれましては、ご理解・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

山梨支部

現行
9.94%

健康保険料率
**平成27年4月～
9.96%**

現行
1.72%

介護保険料率
**平成27年4月～
1.58%**

●ものづくり・商業・サービス革新補助金●

1次公募説明会を開催!

本会が山梨県地域事務局を務めている「ものづくり・商業・サービス革新補助金」の1次公募が2月13日より開始され、去る3月4日、1次公募説明会を開催した。当日は、本補助金の公募を検討している事業者を始めとして認定支援機関などから多くの出席があった。

本補助金は平成26年度補正予算により成立し、予算規模は全国で1,020億円が計上されている。本補助金の目的は「国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援」すること。

補助対象事業としては、①「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等を行う「革新的サービス事業」(補助上限額700~1,000万円)、②「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新を行う「ものづくり技術」事業(補助上限額1,000万円)、③本事業に参画する事業実施企業により構成される組合等が事業管理者となり、複数の事業実施企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等や

プロセスの改善に取り組む「共同設備投資」事業(補助上限額5,000万円(500万円/社))の3つがある。

また、事業実施に係る経費(機械装置費、原材料費、技術導入費等)が補助対象経費となり補助率は2/3以内である。(※本補助金の詳細については、本紙2面をご覧ください。)

なお、本補助金では「認定支援機関」との連携や積極的関与も必要となっており、本補助金の公募を検討される際には、認定支援機関にご相談下さい。

本補助金に関するお問い合わせ先

山梨県中小企業団体中央会 ものづくり支援センター
TEL 050-6861-9988まで



被表彰者の募集について

山梨県中小企業団体中央会では、長年にわたり組合、青年部、女性部活動に貢献した方を対象に表彰候補者を募集しています。

表彰式典は、通常総会開催日に行われます。
選考基準については、別途発送します。

募集
対象組合功労者/青年部功労者/
女性部功労者/優良専従職員

平成27年 6月2日(火)
セレス甲府(旧アピオ甲府)本館
「吉兆の間」

表彰
式典

平成27年3月3日より新たに採用しました。
ようしくお願いします。



ものづくり中小企業・小規模事業者
試作開発等支援事業
アドバイザー

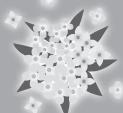
山田 昭宏 氏



ものづくり中小企業・小規模事業者
試作開発等支援事業
アドバイザー

清水 晃一 氏

新採用職員紹介



この街と生きていく

しんきんATM
ゼロネットサービス

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、平日・土曜のご利用手数料が無料でご利用できます。
(一部対象外のATMがございます。)

甲府信用金庫
(055-222-0231)
山梨信用金庫
(055-235-0311)

編集後記

今月から新年度が始まる組合では、通常総会に向け決算関係書類や事業報告書の作成など、慌ただしい時期に入りました。資料作成や手続きなどで何か質問がありましたら、中央会職員にお気軽にお尋ね下さい。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで
TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail
webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

第60回 山梨県中小企業団体中央会 通常総会開催のお知らせ

当会通常総会を次の日程にて開催致します。

開催日時 平成27年 6月2日(火) 14:00~

開催場所 セレス甲府(旧アピオ甲府)本館「吉兆の間」
昭和町西条3600

お知らせ